第６学年　オンラインによる在宅学習　授業実践報告

１　教科及び単元

○　国語科　わたしたちにできること　【全７時間中５・６時間目】

２　本時の目標

○　具体的な事実や考えをもとに、環境問題を改善するための提案文を協力して書く。

３　オンラインによる在宅授業のための本時の主な手立て

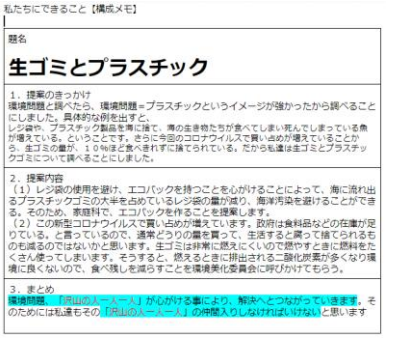
○４人グループを各クラス１０グループ作り、Meet を使った話し合い活動。

○　前時までに各グループで話し合い、作成した２点を共有。

①スプレッドシート
（環境問題に関するテーマ・問題点・解決策が書かれた表）

	テーマ	問題点	解決策
例	・エネルギー　・水　・ごみ　・食料	・エネルギーを使いすぎると、温暖化につながる。　・水が汚れて、海の生き物が死んでしまっている。	・学校に節電を呼びかける新聞コーナーを作る。　・環境委員会でが全校にごみを減らすために具体的にできることを考え、げきをしてよびかける。
⑥	絶滅危惧種・海・ゴミ・人口	・ゴミが増えて、生き物の住む場所が減ってしまう。畑を作りすぎて、森林が	・ポスターや張り紙などで買い弁のマイおはしを呼びかける。（環境委員会）・３Rを朝会でみんなに伝える
⑦	空気、ゴミ、水、（食べ残し）	・ごみが溢れ出てる。 ・蛇口が開きっぱなし。 ・二酸化炭素が少しずつ増えてきている(車の排気ガス)。 ・買い弁の食べ残し　・裏板の消し方。	・ハイブリットカーに変える。　・お弁当を食べようキャンペーン ・ゴミの体積を小さくする。　・１周に付き１人お弁当時長を作る。 ・蛇口が壊まっていることを確認する。　・黒板の消し方　優くしない 一人一人がこのようなことをを心がける。　・チェックの総をチェック入れに入れる
⑧	・絶滅危惧種魚	環境が悪化して生き物が死んでしまう。	・探究などでグループで話し合って整理し、ポスターを作る。・学校で使ったものは、リサイクルしてもう一度使う。＝回工などの作品とか、・環境美化委員会などで、話し合って環境について全校生徒に呼びかける。・マイお箸を持ってきて、資源を無駄にしない。・節水を心がける。・環境問題ポスターコンテストを開催する。
⑨	ゴミ、自然破壊	町中にゴミを不法投棄すると環境が悪くなったり、カラスが出たり、地球温暖化が進んでする。 森林＝大気汚染を進めてしまう森林破壊。有害ガスから無害な酸素にしてくれる森林を伐採すると、有害ガスが地球に解き放たれてしまう。	ゴミ箱に捨てることを呼びかける。ポスターや看板を作り不法投棄された海の壁に貼ったりなでたりする。学校の遠足で自然破壊について学ぶ。環境委員会で呼びかけることも大切。
	・海 ・エネルギー ・空気 ・水	・海が汚くなると水が汚くなる。（水,海） ・資源を使いすぎると資源が少なくなる。（資源） ・エネルギーを使いすぎるとゴミが増えると 生き物の住む場所がなくなる。（絶滅動物、エネルギー、ゴミ） ・要にゴミが増えると、ゴミを燃やさないといけないから	・水を使いすぎないようにポスターで呼びかける。（水、海） ・電気を節電する。（電気、空気） ・買い弁のお箸などを家から持ってくる。（3Rする、ゴミ、エネルギー） ・紙、水などと思われた資源は大切に使う。（資源） ・絶滅動物を守るため、ゴミを減らす。（絶滅動物）

②ドキュメント（構成メモ）



私たちにできること【構成メモ】

題名

生ゴミとプラスチック

1．提案のきっかけ
環境問題と調べたら、環境問題＝プラスチックというイメージが強かったから調べることにしました。具体的な例を出すと、
レジ袋や、プラスチック製品を海に捨て、海の生き物たちが食べてしまい死んでしまっている魚が増えている。ということです。さらに今回のコロナウイルスで買い占めが増えていることから、生ゴミの量が、１０倍ほど食べ残すに捨てられている。だから私達は生ゴミとプラスチックゴミについて調べることにしました。

2．提案内容
（1）レジ袋の使用を避け、エコバックを持つことを心がけることによって、海に流れ出るプラスチックゴミの大半を占めているレジ袋の量が減り、海洋汚染を避けることができる。そのため、家庭科で、エコバックを作ることを提案します。
（2）この新型コロナウイルスで買い占めが増えています。政府は食料品などの在庫が足りている、と言っているので、通常どうりの量を買って、生活すると買って捨てられるものも減るのではないかと思います。生ゴミは非常に燃えにくいので燃やすときに燃料をたくさん使ってしまいます。そうすると、燃えるときに排出される二酸化炭素が多くなり環境に良くないので、食べ残しを減らすことを環境美化委員会に呼びかけてもらう。

3．まとめ
環境問題、「声山の人一人」が心がける事により、解決へとつながっていきます。そのためには私達もその「声山の人一人」の仲間入りしなければいけないと思います

○　上記２点を元に、meet で話し合い、協力してドキュメントに提案文を書けるようにする。

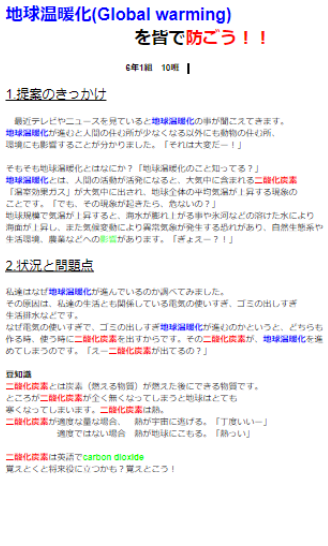
４　授業の実際

子どもたちは、本単元から始めた meet を使ったグループでの話し合いに慣れてきている。話し合いをしながら共有のドキュメントに、役割分担をして提案文を書く姿が見られた。Chromebook を利用して授業を行っているため、環境問題に対するテーマに関して分からないことがあれば Google で調べたり、必要に応じて提案文にリンクを貼りつけたりする姿が見られた。教師は各グループを回ったり、コメント欄を見たりして、いつでも質問に答えられるようにしていたが、前時までの学習を元に、自分たちだけで学習を進められるグループがほとんどであった。

５　授業を終えて

○　今年度より学習指導要領が変わり、「主体的・対話的で深い学び」が謳われるようになった。在宅学習では特に対話をしながら深めていく授業が難しいと感じていたが、本時のように、meet とドキュメントやスプレッドシートなどを組み合わせることで、対話をしながら思考を深める授業が可能となった。

完成した提案文の一部



地球温暖化(Global warming)
を皆で防ごう！！

6年1組　10班

1 提案のきっかけ

最近テレビやニュースを見ていると地球温暖化の事が聞こえてきます。
地球温暖化が進むと人間の住む所が少なくなるなど外にも動物の住む所、環境にも影響することが分かりました。「それは大変だ～！」

そもそも地球温暖化とはなにか？「地球温暖化のこと知ってる？」
地球温暖化とは、人間の活動が活発になると、大気中に含まれる二酸化炭素「温室効果ガス」が大気中に出され、地球全体の平均気温が上昇する現象のことです。「でも、その現象が起きたら、危ないの？」
地球規模で気温が上昇すると、海水が膨れ上がる事や氷河などの溶けた水により海面が上昇し、また気候変動により異常気象が発生する恐れがあり、自然生態系や生活環境、農業などへの影響があります。「ぎょえ～？！」

2 状況と問題点

私達はなぜ地球温暖化が進んでいるのか調べてみました。
その原因は、私達の生活とも関係している電気の使いすぎ、ゴミの出しすぎ生活排水などです。
なぜ電気の使いすぎで、ゴミの出しすぎ地球温暖化が進むのかというと、どちらも作る時、使う時に二酸化炭素を出すからです。その二酸化炭素が、地球温暖化を進めてしまうのです。「え～二酸化炭素が出てるの？」

豆知識
二酸化炭素とは炭素（燃える物質）が燃えた後にできる物質です。
とこころが二酸化炭素が全く無くなってしまうと地球はとても
寒くなってしまいます。二酸化炭素は熱。
二酸化炭素が適度な量な場合、　熱が宇宙に逃げる。「丁度いい～」
適度ではない場合　熱が地球にこもる。「熱っい」

二酸化炭素は英語でcarbon dioxide
覚えとくと将来役にたつかも？覚えとこう！